

2024年2月28日
株式会社ラクト・ジャパン

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、企業活動を通じ継続的に企業価値の向上を図るとともに、「世界を食で繋ぎ、人々を健康に、そして笑顔にする」というパーパスを実現することが株主の皆さま、お取引先、従業員などすべてのステークホルダーの期待に応えるものと考えております。そのための基盤としてコーポレート・ガバナンスを確立することは、経営上の最重要課題の一つであると認識し、「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」を策定、着実に実行してまいりました。当基本方針第5章第20条では取締役会全体の実効性について、毎年各取締役の自己評価なども参考にしつつ分析および評価を行うことを定めています。この定めにも則り、この度、2023年度の分析・評価を実施いたしましたので、以下のとおりその概要をお知らせいたします。

1. 分析・評価の方法

2023年度につきましては、昨年同様、客観性を高めるため外部機関の協力を得て2023年12月～2024年1月にアンケートを実施し、全取締役10名が外部機関に直接回答することで匿名性を確保しました。外部機関からの集計ならびに分析結果は2024年2月の取締役会に報告され、議論を行いました。

2. 評価項目

「取締役会の実効性評価」にかかるアンケートの大項目は以下のとおりです。

- ① 取締役会の構成と運営に関する質問（質問数5問）
- ② 経営戦略と事業戦略に関する質問（質問数5問）
- ③ 企業倫理とリスク管理に関する質問（質問数4問）
- ④ 業績モニタリングと経営陣の評価・報酬に関する質問（質問数4問）
- ⑤ 株主等との対話に関する質問（質問2問）

質問数 計20問

3. 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

各質問の評価尺度は5段階評価とした上で、全取締役の評価平均値が4.4以上であることから取締役会の実効性は概ね確保されていると判断いたしました。

【評価尺度】

5:有効、適切 4:どちらかと言えば有効、適切 3:どちらともいえない 2:どちらかといえば改善余地あり 1:要改善、不適切

また、前回評価において確認しました改善点につきましては以下のとおり進捗は認められたものの、引き続き改善点の指摘もありました。

① 人材戦略の在り方と適切な監督

新しい人事制度や研修制度が導入され、その運用状況を注視しているところではあるが、人材構成に一部偏りがあることから、中長期の経営人材の育成、外部からの登用などの検討をしていくべきである。

② 後継者計画に関する取締役会における情報共有の強化

指名・報酬諮問委員会では十分に時間をかけて「後継者計画」に関する議論を行い、取締役会に説明をしているが、取締役に求められるスキルに関しても取締役会においてより議論を深めていくべきである。

③ サステナビリティを巡る課題への対応を通じた企業価値向上

サステナビリティの重要性は周知され、具体的な取り組み内容についても議論が進んでいることから、目標値の設定等引き続き取締役会でも能動的に取り組んでいくべきである。

4. 今後の取り組み

上記評価のとおり、当社取締役会は概ね適切に機能しており、その実効性はこれまでの取り組みにより、着実に向上していることが確認できました。一方で、上記の改善点に加え、すでに議論は進めてはおりますが、資本収益性や株価の改善に向けた方針の策定と取り組みの推進についても、引き続き取締役会での議論・監督を進め、企業価値向上に務めてまいります。

以 上